雑餉隈町の魅力再認識②

恵比須神社（えびすじんじゃ）

雑餉隈町 3-3-7　雑餉隈町公民館横

事代主命（ことしろぬしのみこと）（恵比須神（えびすがみ））と火産霊神（ほむすびのかみ）（愛宕神（あたごがみ））を祀っています。

雑餉隈町は博多へ二里、二日市へ二里といわれ、博多宿と二日市宿の丁度中間に位置し、太宰府街道の間の宿場町として栄えていた所でした。

旅館や茶店、食料品、日用雑貨等を商う店が軒を並べ繁栄していた所であるため、商売繁盛を祈る恵比須神と、悪疫の侵入を防ぐ愛宕神を、宿場町雑餉隈地区の鎮護の神として祀りはじめたものです。

※大野城巡杖記より抜粋

例祭は年に４回行われています。

①春の大祭　４月１０日

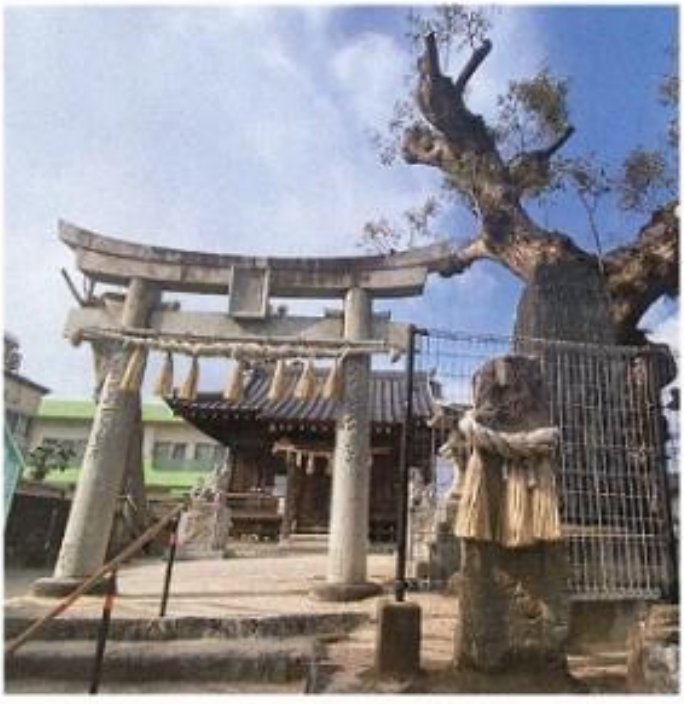
②夏ごもりの神事　７月中旬

子ども達が夏負けせずに元気に成長するように、そして雑餉隈町区に火災が発生しないように祈って千本のローソクを境内一杯にともす千灯明の法要を行ってきました。現在もこの伝統行事を絶やすことなく、毎年夏まつりの時に雑餉隈町子ども会で千灯明を行っています。

③秋のお祭り　１０月１０日

④冬季大祭（十日恵比須）　１２月１０日から

神に感謝し、家内安全商売繁盛を祈るお祭りがいまでも続けられています。



お祭りの時は幕が張られます。

冬の大祭では福笹をいただけます。